

市民共同の改革派

# 「オール大阪」が政治を変える

ええやん!



市民多数の利益にかなう道

橋下さんは、「自民と民主、共産が組むのは野合」と叫びますが、とんでもありません。

## 大阪の政治を変えるキーワードは

### 「さよなら維新」

### です

この4年間、大阪は橋下さんのワンマン独裁の「維新政治」が吹き荒れました。

「大阪都」に「ノー」がつけつけられたのに、またごり押しする。「敵」をつくって対立をもちこみ、民主主義を脅かす。病院つぶしや「敬老バス」有料化など、いのちと暮らしを守る施策が切り捨てられる。これが「維新流改革」です。

橋下さんは「政界引退」をするのに、こんな政治をまだ続けていいのでしょうか。

大阪の政治を変えるために、いま大阪に求められているのは「さよなら維新」。この一点で私たちは共同しています。

## 一党一派でなく、市民がささえる共同こそ

「オール大阪」の共同でこそ、暮らしを守ることができます。「維新」一党の政治でなく、すべての住民に目を向け、民主主義で前進させる政治が生まれるからです。

2年前、「維新」を打ち破った堺市では、府内一番のりで子ども医療費助成を中学校卒業まで広げ、国民健康保険料の引き下げや「おでかけ応援バス」の拡充など、市民にまっすぐ目を向けた施策が進んでいます。

「オール大阪」の共同があとおしする元女性府議、元市議団幹事長の政策を見てください。展望がひろがります。



元女性府議、元市議団幹事長の政策から



大阪市が残る前提で落ち着いた政策議論をし、繁栄させよう

- 子ども医療費助成制度を高校卒業まで検討、保育所の待機児童の解消、保育料の軽減
- 「敬老バス」の「50円負担」はなくす。特養ホームの建設
- 公募校長制度は見直し、温かい中学校給食の実現
- 経済対策はカジノや「道頓堀川にプール」より、中小企業支援を
- 学区撤廃や思いつきの高校入試制度変更は中止
- ムダで危険な「二重庁舎」＝「咲洲庁舎」からの撤退

新しい歴史の扉

# 「オール大阪」の「共同」による 新しい大阪づくりをごいっしょに

● 明るい民主府政

発行/2015年11月19日 第827号 〒530-0047 大阪市北区西天満3-1-27 レバンガ西天満  
明るい民主大阪府政をつくる会 TEL.06-6365-5839 FAX.06-6365-5842

Mail akarui@mbs.sphere.ne.jp  
HP <http://osaka-akarui.com/>

明るい会

検索

「明るい会」は、大阪商工団体連合会、大阪府保険医協会、新日本婦人の会、全大阪労働組合総連合、日本共産党など56の団体・政党で構成しています。

「明るい民主大阪府政をつくる会」は次の見解を出しました。

